



例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4 F
- 会長 門前 庄次郎
- 幹事 田中 正躬
- 会報委員長 黒木 正人



「おなじ星を見ていた - ギアリンクスの架かる虹」より
汽車を待つ 内田 新哉

<会長の時間>

本日は高山中央ロータリークラブの清水幸平様をお迎えして、CLPについてお話をして頂きます。高山中央RCは早くにCLPを導入され活動されていますので導入の経緯、またどのような形でクラブ運営をされているか、そんなお話を聞かせて頂き当クラブの参考にさせて頂ければと思っていますので宜しくお願いします。



当クラブも現在CLP導入も含めた『長期戦略・戦略計画』をどのように作り上げ活動に生かして行くか、そんな事の話し合いを進めております。何回か検討委員会を開き、年末には会員全員での意見交換会の場も作らせて頂きました。

そんな話し合いの経緯の中でクラブの形を作っていくのはなかなか難しい事だなと感じています。ただ前回話し合っていた内容を少し紹介しますと、

- ・当クラブの特色をはっきりし、ブランディング戦略を明確化する。
 - ・単年度で完結する事業は単年度の事業として、継続性のある事業は継続して行く事業として、引継ぎ連携をしっかりと出来る体制を作り、不連続の連続をなくす。
 - ・活動内容を対外的にアピールし、公共の認知度を上げる。
- など、様々な意見を頂いています。当クラブの歴史の中で、今まで培ったものを大切にに残していくべきものはしっかり残して行く、必要なものは変えて行く。そんな思いを皆さんが持って見えることを感じています。

当然ですがクラブの主役は会員である皆さんです。会員の皆さんに取って満足度が高いクラブになる事が大切で、目的意識しっかり定め奉仕と友情の輪を上げられる活動が今以上に出来ると良いなと思います。また形ありきではなく、出来る事から始め、変えられる事から変えていく。その積み重ねで結果として当クラブの形が出来ていく。そんなスタンスで良いのかなと、今までの話し合いを通じて思っています。

少し先の話ですが4月5日のクラブ奉仕委員会の担当例会で「CLP戦略計画」についての二回目の意見交換会を予定しております。本日の清水様のお話を参考にさせて頂きながら、当クラブの事を皆さんで考えて行きたいと思っておりますので宜しくお願いします。

<幹事報告>

◎高山市教育委員会 学校教育課長より

- ・平成31年度「高山市キャリア教育を考える会 出前講座」について
日時 3月4日(月) 15:00~16:00
場所 高山市役所4階 中会議室

◎光記念館より

- ・開館20周年記念特別展のご案内および招待券・優待券
「近代日本画名品展」 期日 2月27日(水)~6月10(月)

<受贈誌>

岐阜県環境生活部人権施策推進課長(人権だよりNo. 76)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	32名	2名	34名	40名	85.00%
本日	33名	-	33名	40名	82.50%

<本日のプログラム> ロータリー情報委員会

委員長 古橋 直彦



本日の担当例会は、高山地区でいち早くCLPを導入された高山中央ロータリークラブより、高山中央未来委員会委員長の清水幸平様にお越し頂きました。実際にCLPを導入されるにあたっての経緯や具体的な手法、推進に伴う問題点や解決方法、また導入前後でのクラブの変化とCLPへの評価等をお伺いし、当クラブでの参考とさせて頂いていただければと思います。どうぞよろしくお願い致します。



CLP導入に当たって

高山中央ロータリークラブ 高山中央未来委員会 委員長 清水 幸平 様

1. CLP導入の目的とは
CLPは、2004年11月に、DLPの延長計画として、RI理事会で決定されました。

DLPは、RIの強制的な地区組織の管理システムですが、CLPの採否は各クラブの裁量に任されています。
CLPの最大の目的は、クラブを長期的に発展させ、活性化を図っていくことです。

「CLPはクラブ組織と活動の簡略化」と捉えるのは間違いです。2013年手続要覧には、「各クラブは、活気あるクラブとなるための独自のクラブ・リーダーシップ・プランを作るべきである。元・現・次期クラブ役員は、クラブの長所やベストプラクティスを取り入れた独自のリーダーシップ・プランを、協力して作るべきである。」とあります。

例会報告

CLPの具体的な実効策は、以下の9つのステップで示されています。

1. 戦略計画（長期目標）を立案する。
2. 年度目標を設定する。
3. クラブ協議会を実施し、会員全員に情報を伝える。
4. クラブ内、地区との意思疎通を保つ。
5. クラブの活動の継続性をもたらす。
6. クラブ細則を適宜修正する。
7. クラブ会員間の親睦が深まるような奉仕と親睦の機会を提供する。
8. 会員全員がプロジェクトや奉仕活動に活発に関与するように計らう。
9. 包括的な研修プランを立案し、指導者を育成する。

CLPの推奨するクラブ委員会構成は、「管理運営」「公共イメージ」「会員増強」「奉仕プロジェクト」「ロータリー財団」の5つの常設委員会に簡素化されています。このCLPの委員会構成は強制ではありません。それぞれのクラブが、従来の「四大奉仕部門」に基づく委員会活動の継続性やクラブの会員数を考慮しながら、自クラブに最適な委員会構成を検討し、再編すればよいのです。

RCと企業とでは、リーダーシップ(Leadership)の発揮の仕方が違います。企業は、権限を持ったトップが指示命令して動かすが、ロータリーは、会員の平等・対等な関係が前提です。クラブの組織力を高めるためには、会員全員の合意形成・対話・協力が重要です。

1. 高山中央RCにおけるCLP導入の経緯と具体的な手法
2010-11 清水会長 社会奉仕委員会にて、出前講座を始める。
2011-12 平林会長 社会奉仕委員会にて、継続事業として出前講座を実施。
2012-13 足立会長 高山中央未来委員会(CLP)立ち上げ。新世代・青少年育成委員会にて出前講座を企画運営。長期計画を「職業奉仕に徹する事」と定める。
2013-14 山本会長 CLPの一部導入する。職業奉仕委員会を基礎として、クラブ管理運営委員会、クラブ奉仕委員会、奉仕プロジェクト委員会、会員基盤増強委員会の5委員会(理事)とする。
2014-15 永家会長 CLPに基づいた組織変更。6委員会委員長(新世代委員会を追加)を統括理事として担当委員会を把握し指導する。長期事業としては青少年奉仕に焦点を絞る。
2015-16 大保木会長 長期戦略計画を「職業奉仕に徹すること」とし、CLPの導入について検証し今後への提言をする。継続事業の取り組みと今後の展望を検証。青少年奉仕委員会が出前講座を実施。
2016-17 田中会長 高山中央未来委員会(CLP)にて継続事業や中長期ビジョンの展望を検証する。グローバル補助金を検討する。
2017-18 中田会長 高山中央未来委員会(CLP)にて、長期的な事業展開を立案する。今後グローバル補助金を使った事業を目指す。
2018-19 高原会長 CLP導入による効果を出すよう計画する。
2. 推進に伴う問題点や解決方法(委員長私見)
導入に当たって、まず5委員会設置し、その後6員会にする。
クラブ管理運営委員会、クラブ奉仕委員会、職業奉仕委員会、奉仕プロジェクト委員会、会員基盤増強委員会、青少年奉仕委員会(新世代委員会)の6つの委員会の委員長を統括理事として各委員会を取りまとめる。統括委員長の役割と働き方が明瞭といえるか。
長期戦略計画を「職業奉仕に徹すること」とし、長期事業として青少年奉仕(出前講座等)に力を注ぐことになる。
日本における伝統的な職業奉仕委員会の思い込みがある。長期戦略計画を「職業奉仕に徹すること」として伝統的な職業奉仕委員会重視のかたちをとっている。
奉仕プロジェクト委員会事業として、青少年委員会とともに出前講座に協力する。奉仕ブロン委員会の協力で活動している。

3. CLP導入による変化と評価

奉仕プロジェクト委員会は、統括理事が担当する各委員会と連携して活動し、合同事業を運営している。青少年の育成をメインにし各委員会が協力する。2013 春慶塗マイ箸づくり、2014 行灯づくり、2015 飛騨組子作り、2016 飛騨匠の技からフラワーアートへの挑戦、2017 天然木材でスツールを作ろう、2018 ふれあいキャンプ。といった事業をし、効果を出している。

ロータリー賞12回連続受賞によるクラブの活性化の効果あり。クラブがR I会長賞受賞へ向かうまとまりと各委員会の活動内容の充実。

今後も「会員満足度アンケート」の実施による会員の評価を見ていきたい。CLPの効果が出るように今後も検証し、改善していく必要がある。

<ニコニコボックス>

●高山中央ロータリークラブ 清水 幸平 様

初めて訪問させて頂きました。本日は宜しくお願ひいたします。

●門前 庄次郎さん、田中 正躬さん

本日ゲストとしてお越し頂きました。高山中央RC高山中央未来委員会委員長の清水幸平様、お忙しい中ようこそお越し頂きました。卓話を楽しみにしております。宜しくお願ひします。今年度の9ヵ年皆出席表彰は対象校が9校生徒さんが39名です。当日学校まで赴いて頂ける方が11名お見えになります。手を挙げて頂いた皆様にはお世話になりますが、子どもたちにしっかり激励をして来て頂きます様お願ひいたします。

●古橋 直彦さん

次年度濃飛グループガバナー補佐 清水 幸平さんには年度スタート前の大変ご多忙のところ例会講師を快諾頂きありがとうございます。本日は宜しくお願ひ致します。

●小森 丈一さん

清水幸平様のご来訪を心より歓迎致します。ご講話をして頂けるのか。楽しみにしています。

●伊藤 松寿さん、狭土 貞吉さん、田近 毅さん、平 義孝さん、

阪下 六代さん、井辺一章さん、米澤 久二さん、田中 武さん、遠藤 隆浩さん、堺 和信さん、鴻野 幸泰さん、垣内 秀文さん、田邊 淳さん、黒木 正人さん、杉山 和宏さん、大前 克秀さん、高山中央RC高山中央未来委員会委員長の清水幸平様のご来訪を歓迎いたします。ご講話よろしくお願ひいたします。

●山下 直哉さん

2月11日の建国記念の日は、今年最初の高山西ゴルフコンペを岐阜関カントリーで行いました。天気予報では曇りのち雨で心配しましたが、どうにか持ちこたえて気持ちよく回ることが出来ました。優勝は大前さんで今年初めてながら100切りを達成されました。おめでとうございます。

●新井 典仁さん

先日5~600人位の人の前で挨拶する機会がありました。前回のニコニコ担当例会のおかげであまり緊張しないで話すことが出来ました。ロータリークラブは色々成長させて頂けても感謝です。

●住田 泰典さん

雪の少ない冬でした。アルコピアスキー場のロッジを予定より3週間早くクローズすることにしました。出血は早めに止めなければとの判断です。つらい春を迎えましたが、気分は晴れ晴れスッキリしています。

●下屋 勝比古さん

ブルズのエース美京選手が突然退団しました。少しだけプレーオフが現実的な夢を見ました。残り3試合、悔いのない応援をお願いします。

●大前 克秀さん

全国古民家再生協会の月刊誌「ジャパトラ」を机の上に置かせて頂きました。読んでいただければ幸いです。

インスピレーションになろう